

爆撃、無辜の住民の殺戮を難詰する決議を採擇した

内閣情報部一〇・二〇 情報第五號

―外國無線局發信電報―

上海 (XHU) 發 (二十日)

一、上海 發

東京よりの日本側報道によれば、主要海上保險會社十五社の代表の會議の結果、ロンドンのロイド社と交渉しロイドに對抗して日韓滿の戰時保險取扱の組織を形成する事が決定した、右決定は、ロイド社が太平洋戰爭區域の中に支那と共に日本をも入れ、日本の保險料を値上げした事に對する抗議である

二、北平 發

北支と外蒙との緩衝地帯として内蒙古國を建設する計畫が日本の半官的聲明から察知されるに至つた、右聲明は、綏遠省に於ける日本の軍事情動成功に引續き同省蒙古人有力者達蒙古族を支那に對する奴隸的な立場より解放し、外蒙古を通つて南進する共產主義に反對する事に協力を申出でてゐる

と述べてゐる、尙新國家の元首には多分德王がなるらしく德王は百靈廟に本部を設置した

三上海 發

支那政府の機關通信社は左の如く報道して居る

日本軍飛行機三機は十九日午前蘇州附近に於て外國人三名支那人一名を乗せ上海より南京に向ふ自動車二臺に對し機關銃を以て射撃した、乗客は即時自動車から跳び出した所飛行機は尙追跡して居る事を發見した、乗客はイタリー海軍中尉リベジィ氏ロシア人自動車販賣人フイツチングホッフ氏、支那人新聞記者「ステイシー・ウエイ」ドイツ人ヒルシユヘルグ氏であつたが、誰も負傷はしなかつた、一行は攻撃を受けた後も旅行を續け無事南京に到着した

四上海 發

英國總領事フイリツプス氏は日本當局に對し「ウエストウッドエステート」に於ける英國人所有家屋爆撃に對し抗議を提出した

五上海 發

日本陸軍スホークスマンの發表左の如し

(イ)目下上海、南京、杭州を結ぶ三角形地域内に在る支那軍の數は五十五師、一師の兵數は平均一萬である

(ロ)十月十五日迄租界内に於て支那軍の目標を誤つた爆弾、砲弾、小銃弾による非戦闘員の死傷者は死者二千五十七名、負傷者二千九百五十五名、右の中所謂「流血の土曜日」の死者は千七百四十二名、負傷者は千八百七十三名である、尙一九三三年の上海事變の際は死者七十一名、負傷者二百十六名であつた

内閣情報部一〇・三一 情報第一號

南京支那語放送 (二十日)

(熊本遞信局聴取)

一南京

(イ)講演

最近ノ新聞ニ依レバ、上海ノ敵軍中ニ滿洲ノ同胞ガ加ツテ居ルトノ事デアルガ君等ハ何故ニ傀儡トナツテ同胞タル我等ニ双向フノデアルカ!
速ニ改心シテ我軍ニ投歸セヨ!

我ハ決シテ君等ノ罪ヲ賣ムルモノデハ無イ相共ニ敵ヲ殺スノガ今日ノ責務デアル

(ロ)南京ニ山東當局カラ接シタ電報ニ依レバ我ガ軍ハ徒駭河ヲ渡リ北ニ向ツテ出タ後敵ハ狼狽シテ退却シタ、津浦線ノ正面我ガ某師ノ部隊ハサイメイテンデ敵ト激戦シ平原ハ間モ無ク收復スル、右方ノ某部隊ハ陵縣、セウカイホクニ進ミ某游撃隊ハカセイ、ネイセイ又收復シタ、右方某部隊ハ十八日コウトウヲ收復シ現ニ前進シツツアリ津浦線ノ防禦ハ敵ヲシテ一步モ入り能ハシメナイ

(ハ)敵ノ重爆撃機九臺、追撃敵機五臺ハ今日正午京滬線ニ沿フテ南京ヲ襲ハントシタガ我空軍ハ報告ヲ聞イテ邀撃スレバ敵ハ常州附近カラ北ニ向ツテ去ツタガ、又一時頃敵ノ戦闘